

龍谷大学図書館長 殿

所属・職名 国際学部・教授
氏名 三谷 真澄2022年度 大型図書 研究成果（経過）報告書

このことについて、下記のとおり報告いたします。

購入資料名 「聖語蔵経巻第五期乙種写経 第8回-1 (DVD 2枚、No.130-131) 第8回-2 (DVD 2枚、No.132-133)」	採択年度 2019年度
<p>1. 研究の概要について</p> <p>本資料は、東大寺尊勝院所蔵の古写本を集大成する「聖語蔵経巻」のうち「乙種写経」のカラーデジタル版である。</p> <p>2019年度購入分は、当該年度において全学大型図書の再募集がかけられたことから、内容の重要性や、早急に本学図書館に配備する緊急性に鑑み、申請するに至ったものである。その結果として、採択・配架されたことは、将来的な利活用の便宜に鑑み、図書館蔵書の充実において、いささかなりとも貢献できたかと考える。</p> <p>このたびの配架によって、乙種写経を含む「聖語蔵経巻」の画像集成が本学に整備された。この種の刊行物の性格上頒布数が寡少であり、この機会を逸した場合、購入できない可能性があり、叢書の一部を欠いたものとならざるを得ない。このことは図書館にとっても、研究者にとっても非常に不便となる。そのような難を避け、本学深草図書館に一括配備されたことは、それ自体大きな意味を持つと考える。</p> <p>2019年度の配架後、最新刊の頒布にともない、2021年度と2022年度にも、大型図書費によって「乙種写経」を全巻購入・配架することができた。短期的な研究成果を出すかどうかもさることながら、中長期的な視野に立って、当該資料が一括配備されている意義は計り知れない。実際、当該資料を全巻セットで完備している大学は、近隣はもとより、日本全体を見渡しても稀少となっている。他大学・研究機関にも例の少ない、日本における古写本研究の第一級の資料となるばかりでなく、世界に分蔵される敦煌・トルファンなどの中央アジア出土写本、中国・韓国の古写本との比較対照研究に必須の資料であることは言を俟たない。</p> <p>「3. 研究発表状況」に記した研究業績は、本資料（及びその後の）購入にあたって「大型図書を使用する主な研究者等」として列挙した方々のものであるが、日本の学内外、あるいは国外から来訪する研究者にとっても、本学図書館のアドバンテージとなることは疑いえない。</p>	

2. 購入資料の活用状況（活用予定を含む）について記入してください。

本資料は、仏教学だけでなく、歴史学、文献学、文学、国語学、書道史など多くの研究分野にわたる第一級の資料である。

報告者は、世界仏教文化研究センター基礎研究部門「西域総合研究班」代表、古典籍・文化財デジタルアーカイブ研究センター長をつとめており、様々な場面で、本資料の活用が可能となっている。

特に、今回購入した巻の中に『阿毘曇経』等のアビダルマ文献、『成実論』、『華嚴経論』等のほか、『観所縁縁論釈』等の唯識論書などの仏教論書が多数含まれている点が重要である。これらは、西域出土写本にも多数見受けられる典籍だからである。また、奥書や書き込み、加点などを含む写本も含まれることから、東アジア文化圏全体を睨んだ書道史や書誌学的な見地からも研究対象となりうる。

先述したように、2019年度の配架後も、2021年度、及び2022年度に「乙種写経」の最新刊が深草図書館に配備され、いつでも聖語蔵全巻を閲覧する環境を整えたこと自体に意味があると考えている。

2022年度には、4月より発足した「西域総合研究班」の第5グループ「小川貫弑師旧蔵資料の調査研究」にもとづき、岐阜県各務原市・西巖寺より資料搬入後、仏教典籍の版本や写本のデジタルアーカイブをおこない、諸資料対照研究の基盤を構築することができた。また、8月には、国際仏教学会(International 第19回国際仏教学会(International Association of Buddhist Studies: IABS XIX 2020)大会（於：国立ソウル大学校人文大学）にて、パネル代表者として、大谷コレクションに関する文献資料の紹介をおこなった。また、報告者は、武田科学振興財団・杏雨書屋の運営協議員をつとめており、同書屋所蔵の敦煌・トルファン写本を選定して特別展示会（「杏雨書屋の宗教文献～『敦煌秘笈』『磧砂版大蔵経目録』とその周辺」）を企画した。その際の有形無形の知的財産となり、選定に役立ったことは言うまでもない。

以上のように、本資料の直接的活用とは言えないまでも、国内でも、欠本なく全巻セットで保管する機関は少なく、種々の図書費を活用しつつ、整備してきたこと、全学共通資料として、深草図書館に配備されたことの意義は極めて大きいと考える。

2023年9月3日に、龍谷大学を会場として「日本印度学仏教学会」第74回学術大会が開催される。報告者は、パネル代表として、5名のパネリストを擁して「大谷探検隊と大谷コレクションが拓く知の地平」と題するパネル発表を行う予定である。大谷コレクション中の文献資料は、その性質上、漢字・非漢字の仏教典籍が多数を占め、関連する資料について言及できればと考えている。

3. 研究発表状況（予定を含む）について記入してください。

【雑誌論文】

三谷真澄

- ・三谷真澄、白田淳三、古泉圓順共著「『敦煌秘笈』羽二八五『法句經并法句經疏』解説と釈文」『世界仏教文化研究論叢』59、pp.25-103〈査読有〉、2021.03.12
- ・三谷真澄、岡田至弘、曾我麻佐子、森正和、小川圭二「文化財・学術資料のデジタルアーカイブと多面的公開手法の研究：その研究概要と展望」『人間・科学・宗教総合研究センター研究紀要』1、pp.123-134、〈査読無〉、2021.03.22
- ・三谷真澄「旅順博物館所蔵の写本資料と大谷探検隊」『佛教學研究』77/78 合併号、龍谷大学仏教学会、pp.63-85〈査読有〉、2022.03

早島 慧

- ・早島慧「『大乘莊嚴經論』安慧釈の撰述問題：“rgya gar skad du”という表現に注目して」『印度學佛教學研究』70(1)、日本印度學佛教學会、pp.414-420〈査読有〉、2021.12.20
- ・早島慧「瑜伽行派における六種散乱の変遷：初期瑜伽行派文献の成立順序に関する試論」『佛教學研究』77/78 合併号、龍谷大学仏教学会、pp.87-108〈査読有〉、2022.03

嵩 満也

DAKE,Mitsuya: “The Impact of Southern Song Buddhism on the Japanese Pure Land Movement in the Twelfth and Thirteenth Centuries: Shinran’s Thought in the Context of Shino-Japanese Buddhist Exchange”, *International Journal of Buddhist Thought & Cultures* Vol. 32 No.1 (June 2022): Academy of Buddhist Studies, Donggok University, Korea, pp.83-107.〈査読有〉2022.

DAKE,Mitsuya:”Japanese Buddhists Activities in South Asia Seen in the Magazine of *the Kaigai bukkyo-jijo* 『海外仏教事情』: 1887-1893”龍谷大学真宗学会編『真宗学』第141/142 合併号、pp.1-12<査読有>2020.

【図 書】

三谷真澄

- ・楠淳澄・中西直樹・嵩満也編『国際社会と日本仏教』（龍谷大学アジア仏教文化研究叢書17）三谷真澄「大谷光瑞の国際交流事業の再検討」（pp.117-134）を分担執筆、丸善出版（272p）、2020.01.31
- ・三谷真澄編『龍谷大学古典籍・文化財デジタルアーカイブ研究センター 2019年度研究成果報告書』（古典籍・文化財デジタルアーカイブ研究センター）、2020.03.31
- ・木俣元一・近本謙介編『宗教遺産テキスト学の創成』（名古屋大学人文学研究科人類文化遺産テキスト学研究センター叢書）三谷真澄「仏教写本研究とデジタルアーカイブの展望」（pp.649-658）を分担執筆、勉誠出版刊（728p）、2022.03.25
- ・杏雨書屋『杏雨書屋の宗教文献～『敦煌秘笈』『磧砂版大蔵経目録』とその周辺』（杏雨書屋第75回特別展示会図録）（三谷真澄：序文、解説、及び参考文献執筆）武田科学振興財団・杏雨書屋、2022.10.24

道元徹心

- ・楠淳澄・中西直樹・嵩満也編『国際社会と日本仏教』（龍谷大学アジア仏教文化研究叢書17）道元徹心「北嶺仏教の国際交流」（pp.10-14）および「北嶺の行-四種三昧と浄土教-」（pp.22-33）を分担執筆、丸善出版 2020.01.31
- ・道元徹心編著『日本仏教の展開とその造形』（龍谷大学アジア仏教文化研究叢書15）道元徹心「総説」（pp.3-13）、および「千観撰『法華三宗相對抄』に関する諸問題」（pp.109-125）を分担執筆、2020.02.28
- ・道元徹心編著『比叡山の仏教と植生』（龍谷大学アジア仏教文化研究センター文化講演会シリーズ4）道元徹心「はじめに」（pp.6-8）、および「比叡山の山修山学の理念と継承」（pp.117-140）を分担執筆、法蔵館 2020.03.15

嵩 満也

- ・楠淳澄・中西直樹・嵩満也編『国際社会と日本仏教』（龍谷大学アジア仏教文化研究叢書17）丸善出版 2020.01.31(嵩満也「明治仏教の国際化への歩み」 pp.91-112 を分担執筆)

【学会発表】

三谷真澄

- ・三谷真澄「漢字・非漢字資料のデジタルアーカイブの現状～龍谷大学古典籍・文化財デジタルアーカイブ研究センターの挑戦」 第四届中日藏学研讨会暨龙谷大学建校 380 周年纪念活动（第四回日中藏学研究セミナー並びに龍谷大学創立380周年記念事業）、2019年10月26日
- ・MITANI, Mazumi(Convenor): Panel 3: Buddhist Materials Excavated in Inner Asia - Latest Research Results on the Otani Collections in South Korea, China and Japan（第19回国際仏教学会(International Association of Buddhist Studies: IABS)大会 於：国立ソウル大学校人文大学）、（対面とオンラインのハイブリッド形式）2022年8月18日
- ・MITANI, Mazumi: Otani Expedition and Its Collection - Outline and Its Contribution to Buddhist Studies、IABS同上、（オンライン：事前録画による）2022年8月18日
- ・三谷真澄（パネル代表）「大谷探検隊と大谷コレクションが拓く知の地平」日本印度学仏教学会第74回学術大会（龍谷大学）、2023年9月3日（予定）
- ・三谷真澄「大谷探検隊の概要と大谷コレクション」日本印度学仏教学会第74回学術大会（龍谷大学）、2023年9月3日（予定）

早島 慧

- ・早島慧「『大乘莊嚴經論』注釈書における agotra」日本佛教学会2022年度学術大会（於：佛教大学）、2022年10月1日
- ・早島慧「瑜伽行派の思想展開についての一試論：『顕揚聖教論』・『阿毘達磨集論』を中心として」2021年度龍谷大学佛教学会学術研究発表会（オンライン）、2022年1月25日

【講演会】

三谷真澄

- ・ヤマンラール水野美奈子・三谷真澄「大谷光瑞師がつなぐトルコと龍谷大学」創立 380 周年記念 国際学部特別企画「大谷光瑞師がつなぐトルコと龍谷大学」、龍谷ミュージアム、2019年7月30日
- ・三谷真澄「展示案内」武田科学振興財団・杏雨書屋第46回研究講演会、杏雨書屋、2022年10月29日

以下、参考として、購入年度である 2019 年度の業績（三谷真澄分）を追補する。

【共著】

- ・龍谷大学創立 380 周年記念書籍編集委員会編『時空を超えたメッセージ—龍谷の至宝』法蔵館、2019年・・・ラサ鳥瞰図、六祖壇經、伏羲女媧図、李柏尺牘稿、本草集注、デルゲ版チベット大蔵經について解説を分担執筆。
- ・三谷真澄編『大谷光瑞師の構想と居住空間』（BARC 研究叢書）法蔵館、2020年・・・同名の国際シンポジウムの報告書。編集および「はじめに」を執筆。

【公開講演会、招待講演】

- ・三谷真澄「企画展「龍谷の至宝」～大谷探検隊コレクションを中心に」（浄土真宗本願寺派宗学院公開講座、2019年9月5日、龍谷大学大宮学舎）〈招待講演〉

その他

【テレビ番組協力】

- ・NHKBS プレミアム「シリーズ深読み読書会」井上靖『敦煌』2019年4月6日（土）夜10時30分～11時29分放送・・・三谷は、古典籍・文化財デジタルアーカイブ研究センター長として取材・インタビュー。図書館所蔵資料の選定、撮影、学術協力。

【新聞記事】

- ・「京都新聞」2019年7月31日付「大谷光瑞がつないだ日本とトルコを考える 下京」・・・三谷の氏名・所属・コメント内容を掲載（写真入り）。
- ・「文化時報」2019年8月18日付「大谷光瑞師は5回訪土していた 龍大国際学部講演会で話題に」・・・三谷の氏名・所属・コメント内容を掲載（写真入り）。
- ・「文化時報」2019年9月11日付「西本(願寺) 西域研究の成果を」・・・各宗派の最新情報記事の中で三谷の氏名・所属・講演内容を掲載（写真入り）。

- ・「京都新聞」2019年9月28日付情報ワイド「トルコ殖産 広大な視野。大谷光瑞の活動を考察 龍谷ミュージアムで講演会」・・・三谷の氏名・所属・コメント内容を掲載（写真入り）。

☆資料購入後、**1年以内に研究経過報告書**を提出し、また、**3年以内に研究成果報告書**を提出してください。
加えて著書または学術雑誌等により**研究成果の公表または学会発表**をしてください。
☆公表の際には、参考文献として刊行物に明記してください。